

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和4年9月号）

令和4年9月1日

暦の上での立秋（8月7日）はとうに過ぎましたが、まだ暑さが続くのでしょうか。新型コロナウイルス禍もあって外出を控えめの皆様に、高知駅南口「みんなの庭」の写真（8月撮影）などお届けします。季節の花々が元気いっぱい、まるでミニ植物園です。

9月の共同作業（草取りなど）は11日（日）08：30～10：00。南口でお待ちしています。＜10月は16日（日）の予定です。＞



朝日を迎える向日葵

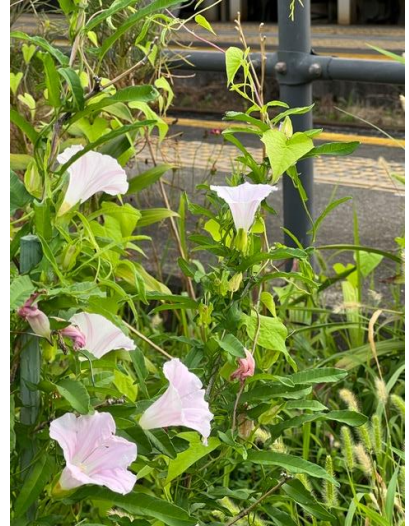


ギボウシ

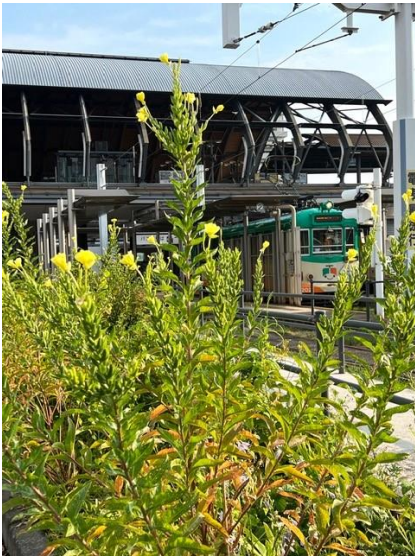
駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11
中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com
公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp
ホームページ： <http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志^{ナカタマサシ}」名義 普通 0709695



色とりどりのアサガオ



メマツヨイグサ（竹久夢二の歌では「宵待草」）

北口駐輪場のイロハモミジ早くも紅葉

徒然（つれづれ）なるままに（ボランティア日記）

植物は自然環境で日に日に育っていく。驚くべきことである。水やりをしに行くと、何時も手入れをしているお方の自転車が遠くから見える。今日も来ているなど、すぐわかる。ほとんど毎日夕方である。肥料を入れたり、役目を終えた草花たちの整理もしている。種が採れる頃合まで見届けもしている。

実のなる草花もある。花にはオシベ・メシベがあり、受粉しないと実がならない、蝶々など、虫たちが手伝ってくれるが、花が少なくなるとやってこない。受粉させると、不思議なことに人の目では見えないが実がなってくる。植物は 24 時間一日も休まず成長しているようだ、やっと気が付いた。

昨夕、良く育った胡瓜を一本収穫して冷蔵庫に保管してある。

世の中予期せぬことが次から次と起こる。人は絶えず様々な難局を努力して乗り越えて生きてゆくのだと学んだ気が、ふとした。

（2022年8月23日、みんなの庭・水やり人。酔って候。龍将）